

4 教保第 260 号
4 教義第 479 号
令和 4 年（2022 年）9 月 2 日

市町村（学校組合）教育委員会教育長 様

長野県教育委員会教育長

「B A. 5 対策強化宣言」の終了に伴う県立学校の対応について（通知）

このことについて、別添のとおり県立学校あて通知しましたので、参考にしてください。
また、別添「重症化リスクの高い方やお子さまと同居するご家族等へのワクチン接種のすゝめ」は、小学校向けにご活用ください。

長野県教育委員会事務局保健厚生課保健・安全係 （課長）永岡 勝 （担当）中島広介 小田切優美 梅本絵里 電話 026-235-7444（直通）内線 4447 FAX 026-234-5169 E-mail hokenko@pref.nagano.lg.jp	長野県教育委員会事務局義務教育課管理係 （課長）加藤 浩（担当）栗林勝幸 電話 026-235-7426（直通）内線 4342 FAX 026-235-7494 Email gimukyo@pref.nagano.lg.jp
---	--

同居するご家族等へのワクチン接種のすゝめ



©長野県アルクマ

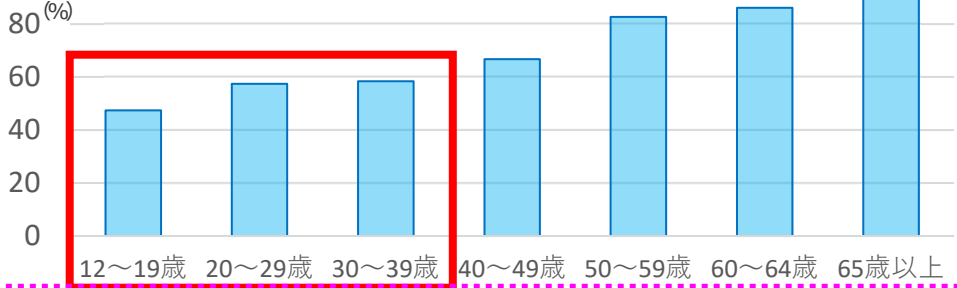
現在の感染状況においては、可能な限り多くの方がワクチンの接種を受けることが大切です。

特に、子どもや高齢者、基礎疾患を有する方と同居されているみなさまは、積極的に早期のワクチン接種のご検討をお願いします。

【県内の年代別3回目接種状況】

※接種率は対世代人口により算出（R4.8.31時点）

- ◆ 50代以上の年代では8割以上の方が3回目接種済
- ◆ 一方、10代は4割、20、30代は5割台の接種率



長野県内の感染状況

- ◆ 感染力の強いオミクロン株BA.5系統への置き換わり
- ◆ 依然として陽性者数が多く、**医療非常事態宣言を継続**
- ◆ 新規陽性者の半数以上が30代以下

- 感染リスクが高い状態
- 家庭内感染に注意が必要
- 高齢者や基礎疾患を有する方等、重症化リスクが高い方へ接する際の感染対策が重要

身近な方を守るために

家庭内での重症化リスクの高い方への感染や、家庭から職場、学校・保育施設等への感染拡大を抑えるためにも、ワクチン接種をご検討ください。

- 追加接種により、オミクロン株に対しても感染予防効果が回復することが報告されています

自分自身を守るために

感染リスクが高くなっているいま、職場など社会生活の中でも感染する可能性があります。感染し、重症化しないためにも、ワクチン接種をご検討ください。

- 追加接種により、オミクロン株に対する発症予防効果、重症化（入院）予防効果も回復すると報告されています

医療を守るために

現在、県内に**医療非常事態宣言が発出**されています。重症化リスクの高い方等、必要な方が必要な時に医療を受けられる社会であるためにも、ワクチン接種をご検討ください

- 追加接種により、ご自身の症状を抑えることは入院による医療への負荷を防ぐことにもつながります

ワクチンの副反応について（3回目接種後の症状）

- 追加接種後の副反応の発生頻度は2回目接種とほぼ同じでした（75～80%）
- 1回目・2回目接種の時と同様に接種翌日の報告が多いようです
- 副反応のほとんどは軽度から中等度でした

出典：CDC:MMWR.October1,2021/70(39);1379-1384

※様々な理由により、ワクチンを接種することができない方もいらっしゃいます。接種の強要や、不利益な取扱いなど、ワクチン接種に関する差別を行うことのないよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

ワクチン接種に関する不安や副反応について

長野県ワクチン接種相談センター

TEL 026-235-7380(24時間無休)
FAX 026-403-0320(土日祝日除く9:00~17:00)



(厚生労働省)



(長野県)

接種の予約について

市町村における接種の詳細については、お住まいの市町村へお問い合わせください。



長野県設置の
接種会場予約ページ

県立学校長 様

教 育 長

「B A. 5 対策強化宣言」の終了に伴う県立学校の対応について（通知）

新型コロナウイルス感染症については、8月24日に「B A. 5 対策強化宣言」が発出され、「救える命を救うことができない事態を避ける」ための取組を進めてきた結果、学校を含めた県民の皆様のご協力などにより目標に掲げた「確保病床使用率と新規陽性者数を減少に転じさせる」ことを達成することができました。このため、「B A. 5 対策強化宣言」は予定どおり9月4日に終了することが、本日発表されました。

一方、医療提供体制の危機的な状況は回避できたものの、確保病床使用率は依然として高水準であるほか、確保病床以外にも昨日時点で170人の方が入院されています。また、医療機関・高齢者施設における集団的な感染も継続して発生しており、医療提供体制には大きな負荷がかかっています。加えて、秋の行楽シーズン到来の影響による感染の再拡大に警戒が必要な状況であることから、「医療非常事態宣言」は継続されます。

このため、学校においては、従前どおり、下記の対策を継続することとしますので、引き続き感染防止対策を徹底してください。

なお、ワクチン接種については、児童生徒や保護者への周知にご協力いただいたおかげで、8月末時点の12～19歳の3回目の接種回数が72,000回を超え、世代人口に対する接種割合が47%に達しました。一方、依然として若年層の新規陽性者割合が高いことから、学校活動への影響を可能な限り少なくするためにも、引き続き別添チラシを活用して周知願います。

また、「若年輕症者登録センター」につきましても、20～40代の方が利用できますので、教職員及び生徒に対し積極的な利用の検討の呼び掛けについて、引き続きご配慮ください。

記

医療非常事態宣言時の感染警戒レベル6（全ての圏域）の感染防止対策

（B A. 5 対策強化宣言発出時（R4. 8. 24）の感染警戒レベル6（全ての圏域）の感染防止対策から変更なし）

各教科等	・感染リスクの高い活動（※）の実施は慎重に検討する。
行 事	・感染防止対策を講じた上で可能な限り実施する。感染拡大防止のための措置を講じても、安全な実施が困難な場合は、中止又は延期する。
部活動	・感染リスクの高い活動（※）の実施は慎重に検討する。 ・1日の活動時間の短縮（2時間程度）を検討する。 ・学校独自の練習試合、合宿等を行う場合には、特に感染防止対策を徹底する。 ・部活動前後の感染防止対策を徹底する。

※感染リスクの高い活動（例）

- ・各教科等に共通する活動として、児童生徒が長時間近距離で対面形式となるグループワークや、近距離で一斉に大きな声で話す活動
- ・音楽における、室内で児童生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏
- ・家庭、技術・家庭における、児童生徒同士が近距離で活動する調理実習
- ・体育、保健体育、部活動における、児童生徒が密集する運動や近距離で組み合ったり、接触したりする運動

<p> 高校教育課管理係 (課長) 服部靖之 (担当) 志津千代子 電話 026-235-7430 (直通) 内線 4364 FAX 026-235-7488 E-mail koko@pref.nagano.lg.jp </p>	<p> 特別支援教育課指導係 (課長) 酒井和幸 (担当) 勝又和彦 電話 026-235-7456 (直通) 内線 4372 FAX 026-235-7459 E-mail tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp </p>
<p> 学びの改革支援課高校教育指導係、義務教育指導係 (課長) 曾根原好彦 (担当) 廣田昌彦、臼井学 電話 026-235-7435 (直通) 内線 4390 FAX 026-235-7495 E-mail kyogaku@pref.nagano.lg.jp </p>	<p> 保健厚生課保健・安全係 (課長) 永岡 勝 (担当) 中島広介 小田切優美 梅本絵里 電話 026-235-7444 (直通) 内線 4447 FAX 026-234-5169 E-mail hokenko@pref.nagano.lg.jp </p>
<p> スポーツ課学校体育係 (課長) 北島隆英 (担当) 酒井修一 電話 026-235-7448 (直通) 内線 4465 FAX 026-235-7476 E-mail sports-ka@pref.nagano.lg.jp </p>	



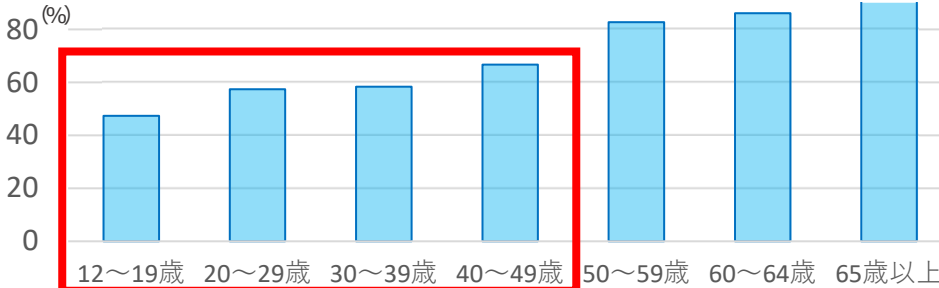
県内では、10～40代の新型コロナワクチン3回目の接種率は比較的低い状況です。

3回目未接種の方は、改めて積極的なワクチン接種のご検討をお願いします。

【県内の年代別3回目接種状況】

※接種率は対世代人口により算出（R4.8.29時点）

- ◆ 50代以上の年代では8割以上の方が3回目接種済
- ◆ 一方、40代は6割、20、30代は5割、10代は4割台の接種率



長野県内の感染状況

- ◆ 感染力の強いオミクロン株BA.5系統への置き換わり
- ◆ 依然として陽性者数が多く、**医療非常事態宣言を継続**
- ◆ 新規陽性者の半数以上が30代以下

- 感染リスクが高い状態
- 家庭内感染に注意が必要
- 高齢者や基礎疾患を有する方等、重症化リスクが高い方へ接する際の感染対策が重要

日常生活を守るために

感染拡大による授業や部活動といった学校生活への影響を可能な限り少なくするためにも、ワクチン接種をご検討ください。

家庭内での重症化リスクの高い方への感染や、家庭から職場、友人・知人等への感染拡大を抑えるためにも、ワクチン接種をご検討ください。

- 追加接種により、オミクロン株に対しても感染予防効果が回復することが報告されています

医療を守るために

現在、県内に**医療非常事態宣言が発出**されています。重症化リスクの高い方等、必要な方が必要な時に医療を受けられる社会であるためにも、ワクチン接種をご検討ください。

- 追加接種により、オミクロン株に対する発症予防効果、重症化（入院）予防効果も回復すると報告されています。また、ご自身の症状を抑えることは入院による医療への負荷を防ぐことにもつながります。

ワクチンの副反応について（3回目接種後の症状）

- ・ 追加接種後の副反応の発生頻度は2回目接種とほぼ同じでした（75～80%）
- ・ 1回目・2回目接種の時と同様に接種翌日の報告が多いようです
- ・ 副反応のほとんどは軽度から中等度でした

出典：CDC:MMWR.October1,2021/70(39);1379-1384

※様々な理由により、ワクチンを接種することができない方もいらっしゃいます。接種の強要や、不利益な取扱いなど、ワクチン接種に関する差別を行うことのないよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

ワクチン接種に関する不安や副反応について

長野県ワクチン接種相談センター

TEL 026-235-7380(24時間無休)
FAX 026-403-0320(土日祝日除く9:00～17:00)



(厚生労働省)



(長野県)

接種の予約について

市町村における接種の詳細については、お住まいの市町村へお問い合わせください。



長野県設置の
接種会場予約ページ